レジメン名

XELOX+Trastuzumab

出典　エルプラット適正使用ガイド
ゼローダ適正使用ガイド
Euro J Cancer (2015) 51,482-488

実施部署区分

■入院　■外来　□処置

対象疾患

HER2過剰発現の胃癌

■進行・再発
□補助療法（術前・術後）
□
□

投与減量の基準

WBC	2000/mm³未満	PLT	50000/mm³未満
その他	上記の時の減量の目安 L-OHP：130mg/m²→100mg/m²→85mg/m² Capecitabine：2000mg/m²→1600mg/m²→1280mg/m² CLcrが30-50mL/minの患者ではCapecitabineを25%減量		

投与中止の基準

WBC	3000/mm³未満	PLT	75000/mm³未満
CLcr	30mL/min未満		
その他	神経毒性、アレルギーに注意		

1クール期間　21日
（次のクールまでの標準期間）

総クール数　PDまで

薬剤名・略号	1日投与量	投与方法	投与速度（時間）	投与日(d1、d8等）
トラスツズマブ	初回8mg/kg 2回目以降 6mg/kg	生食250mL	90分*	day1
オキサリプラチン（エルプラット）	130mg/m²	5%糖液 500mL	2時間	day1
カペシタビン	2000mg/m²※	朝、夕食後		day1夕-15朝
＊初回90分で忍容性が良好であれば2回目以降は30分まで投与時間の短縮可能				
	※体表面積ごとで投与量を決める 1.36m²未満：1200mg/回×1日2回 1.36m²以上～1.66m²未満：1500mg/回×1日2回 1.66m²以上～1.96m²未満：1800mg/回×1日2回 1.96m²以上：2100mg/回×1日2回			

1日投与順
（経時的にﾌﾟﾚﾒﾃﾞｨｹｰｼｮﾝ・ﾎﾟｽﾄﾒﾃﾞｨｹｰｼｮﾝ、溶解液まで含む）

day1
①生食100mL　（ルート確保用）

②トラスツズマブ＋生食250mL（90分*）
（2回目以降30分まで短縮可）

③アロキシ0.75mg＋デキサート6.6mg＋
生食50mL　（15分）

④エルプラット130mg/m²＋5%糖液500mL
（2時間）

⑤生食50mL（フラッシュ用）

day1夕-15朝
カペシタビン錠　2000mg/m²　分2で服用